

質 問 回 答 書

業務名称： 沖縄工業高専学生寮新営用地地盤調査業務

質問回答書

業務名称：沖縄工業高専学生寮新営用地地盤調査業務

表記業務の質問事項について、以下のとおり回答します。

番号	関係資料箇所	質問事項	回答																						
1	入札説明書	【6競争参加資格の確認等 (2)①】 業務実績の証明資料添付（契約書、内容が判断できる図面・仕様書等資料を添付）とありますが、テクリスの書面を証明資料としてよろしいでしょうか。	問題ありません。																						
2	-	地盤調査の積算にあたり、文教施設地盤調査積算要領（H28年度版）を参考としてよいでしょうか。 また、上記資料に記載のないものについては設計業務等標準積算基準書（国土交通省）の最新版を用いても構わないでしょうか。	問題ありません。																						
3	特記仕様書	【地盤調査特記仕様書P2、P3_2章 機械ボーリング】 機械ボーリングはノンコアボーリングでの計上と考えてよろしいでしょうか。	ノンコアボーリングでの計上で問題ありません。																						
4	特記仕様書	【地盤調査特記仕様書P3、P4_4章 載荷試験】 載荷試験はボーリングNo1にて計画されておりますが、試験深度の決定にあたっては、ボーリング調査孔（本孔）で地盤状況を把握した後、調査孔とは別の孔（別孔）で計画することでよろしいでしょうか。	問題ありません。																						
5	特記仕様書	【地盤調査特記仕様書P5_7章 サンプリング】 ボーリングNo1のGL-20mにて粘性土を対象にサンプリングが計画されています。一方、「地盤調査特記仕様書P3」のボーリングNo1の土質毎の数量は下表のとおりであり、GL-14m以深からは”軟岩”の出現が想定されます。サンプリング対象土質は、”粘性土または軟岩”のどちらで計画していますでしょうか。 <table border="1" data-bbox="379 1352 911 1494"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ボーリングNO</th> <th rowspan="2">方向</th> <th rowspan="2">深度 (m)</th> <th rowspan="2">孔径 (cm)</th> <th colspan="4">数量 (m)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>粘性土</th> <th>砂質土</th> <th>軟岩</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>鉛直下</td> <td>GL-20m</td> <td>φ66cm</td> <td>7m</td> <td>7m</td> <td>6m</td> <td>20m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ボーリングNO	方向	深度 (m)	孔径 (cm)	数量 (m)				備考	粘性土	砂質土	軟岩	計	1	鉛直下	GL-20m	φ66cm	7m	7m	6m	20m		軟岩を想定してください。 サンプリングの方法は特記仕様書にて指示しておりませんが、デニソンサンプリング（ロータリー式二重管サンプラー使用）又はトリプルサンプリング（ロータリー式三重管サンプラー使用）を想定しております。
ボーリングNO	方向	深度 (m)					孔径 (cm)	数量 (m)				備考													
			粘性土	砂質土	軟岩	計																			
1	鉛直下	GL-20m	φ66cm	7m	7m	6m	20m																		
6	特記仕様書	【地盤調査特記仕様書P5_7章 サンプリング】 サンプリングの実施は、ボーリング調査孔（本孔）で地盤状況を把握した後、調査孔とは別の孔（別孔）で計画することでよろしいでしょうか。	問題ありません。																						
7	特記仕様書	上記4、5関連ですが、一般にサンプリングの目的は、土質試験に供することとなりますが、「地盤調査特記仕様書P5_8章土質試験」では、各土質試験項目とも適用なしとなっています。本業務でのサンプリングの目的をご教示願います。	本事業の新営学生寮は杭基礎を計画しておりますが、実施設計の段階で土質試験が必要との判断があった場合に備えてサンプリングを追加しております。																						
8	特記仕様書	ボーリング作業の安全確保（不発弾等）のための、磁気探査（水平探査・鉛直探査）は適用なしとの理解でよろしいでしょうか。	調査位置は切り土により造成されており、また今回調査位置付近の過去の試験データより不発弾等のリスクは低いものと想定し、適用なしとしております。 ただし、契約後の現地調査・資料確認後にリスクがあると判断した場合の協議を妨げるものではありません。																						

表記業務の質問事項について、以下のとおり回答します。

番号	関係資料箇所	質問事項	回答
9	特記仕様書	ボーリング用の足場は、計上していますでしょうか。計上している場合、足場の種別・規格をご教示願います。	計上いたします。 平坦地足場 高さ0.3m以下を想定しております。
10	特記仕様書	準備及び跡片付け、環境保全（仮囲い）、調査孔閉塞、給水費（ポンプ運転）等は計上されていますでしょうか。	準備及び跡片づけ:計上いたします。 環境保全(仮囲い):想定しておりません。 調査孔閉塞:計上いたします。 給水費(ポンプ運転):計上いたします。(一般管理費) なお、本校の水道は支給可能ですが、有償提供となります。
11	特記仕様書	資機材運搬、旅費交通費は計上されていますでしょうか。	資機材運搬:計上いたします。 旅費交通費:計上いたします。(一般管理費)
12	特記仕様書	粘性土と砂質土はノンコアの計上でよろしいでしょうか	ノンコアボーリングでの計上で問題ありません。
13	特記仕様書	サンプリングは、固定式シンウォールサンプリングからロータリー式三重管サンプリングへの変更は可能でしょうか。	サンプリングの方法は特記仕様書にて指示しておりませんが、デニソンサンプリング(ロータリー式二重管サンプリング使用)又はトリプルサンプリング(ロータリー式三重管サンプリング使用)を想定しております。
14	特記仕様書	不発弾などによる事故の未然防止のため磁気探査(水平・鉛直探査)を変更対象となりますでしょうか。	調査位置は切り土により造成されており、また今回調査位置付近の過去の試験データより不発弾等のリスクは低いものと想定し、適用なしとしております。 ただし、契約後の現地調査・資料確認後にリスクがあると判断した場合の協議を妨げるものではありません。
15	特記仕様書	サンプリング(乱さない試料)が20m1本表示されているが、室内土質試験が取り消し線がひかれています。サンプリング有無確認後、室内土質試験変更する方向性でしょうか。	本事業の新営学生寮は杭基礎を計画しておりますが、実施設計の段階で土質試験が必要との判断があった場合に備えてサンプリングを追加しております。
		注)質問事項は原文のまま	
			以上